

風習の旅

今年こそ行ってみたい、祭り、イベント、伝統芸能。

豊かな実り、無病息災、子孫繁栄。人々のさまざまな想いを込めて古くから行われてきた祭り、伝統芸能。それは地元の人とのふれあいの場。新たな出会いが生まれて、田川がますます身近になるかもしれません。



C-2 岩戸神楽(田川市) 福岡県無形民俗文化財

春日神社に約400年前から伝承されてきた神楽。人々が用意した祭りの座に神が姿を現して、人々とともに楽しむという神降りの芸能です。5月の神幸祭、8月の夏越祭(なごしさい)、10月の神待祭(かんまちさい)に奉納されます。



C-4 大内田神楽(赤村)

大内田地区で約340年以上も続いている伝統芸能です。当時の大内田地区では牛馬の疫病が流行。氏神さまである大祖神社に願をかけたところ、「4月に神楽をせよ」とのお告げがありました。以来、現在まで脈々と受け継がれ、今では4月の最終土曜日に舞われています。万年願として、大内田地区が三戸になるまで続けることを神に約束したといわれています。



A-2 上野焼春の陶器まつり

B-2 上野焼秋の窯開き (福智町)

上野焼をお手頃価格で販売。安く、いい物が手に入るとあって、遠方から足を運んでくる人も多数。陶器だけでなく、地域の農産品なども並び販わります。



C-2 田植祭(糸田町) 無形民俗文化財

五穀豊穡や無病息災を祈り、毎年3月15日に金村神社で行われています。祭りのなかでは、草刈りから田植えまでを演じる田植え行事や、小学生による田植舞を奉納。滑稽な演技もあり、賑やかに行われます。



C-3 ふる里かわら夏祭り ふる里かわら秋祭り (香春町)

夏祭りは8月15日。町内外から多くの人が集い、盆踊り大会が開かれます。秋祭りは11月の第1日曜日に開かれます。



C-3 伊加利人形芝居 (田川市) 福岡県無形民俗文化財

慶応元年(1865)から毎年初巳の日に奉納されている人形芝居。伊加利村に病がはやり、幼い子どもたちが次々と命を落としたため、村の鎮守神岩亀八幡の末社である宇賀社に祈願したところ、弁財天が現れて「子どもの喜ぶ人形芝居を奉納せよ」と告げたのが始まりです。ほかの地域ではなかなか見られない珍しい郷土芸能です。



D-3, D-4 亥の子(川崎町)

西日本では亥の日を祝う風習があり、その一環として受け継がれているのが旧暦の10月の亥の日に行われる祭りです。子どもたちが亥の子石といわれる石に縄を結びつけて亥の子を用意し、その年に生まれた子どもの家をまわって、庭先を亥の子石で突きます。突かれた家の子どもは、猪のように元気に育つといわれています。※町の各地区で実施されます。

D-3 岩石城まつり(添田町)

鎧甲で身を固めた人々が武者行列や合戦を再現する勇壮な祭りです。



イベントスケジュール

	期日	場所	内容
TAGAWAエントツライブ(田川市)	期日不定 (2007年は8月5日)	石炭記念公園	地元の若者が主体になって催す音楽の祭典
TAGAWAコールマイン・フェスティバル 炭坑節まつり	11月の第1日曜日とその前日	田川市	創作炭坑節などのアトラクションなど盛りだくさん。市民の手づくりイベント
へいちくフェスタ(福智町)	10月の第1日曜日	平成筑豊鉄道金田駅等	平成筑豊鉄道が主催。チロルチョコつかみ取りなど
ふるさとかわら梅まつり(香春町)	3月第1日曜	神宮院、高座石寺	満開の梅のもとの護摩焚きは必見
男魂祭	11月	深倉園地	紅葉の中、神輿が繰り出し、たくさんの特産品販売あり